

**注意！**

■この記事は発行年月日時点の内容のまま公開していますので、ご覧になった時点の法規制(農業使用基準等)等に適合しなくなった内容を含む可能性がありますから、利用にあたってはご注意下さい。

# 農作物技術情報 第9号 畑作物

発行日 平成27年11月26日  
発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部  
編集 中央農業改良普及センター 県域普及グループ (電話 0197-68-4436)

携帯電話用 QR コード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます  
パソコンからは「<http://i-agri.net/agri/>」 携帯電話からは「<http://i-agri.net/agri/i/>」

## ◆ 小麦 雪腐病の常発地帯等では雪腐病防除を根雪前に行いましょう。越冬後の融雪対策のため排水路の点検を行い、整備しておきましょう。

### 小麦

#### 1. 生育状況

播種は概ね平年並の時期に行われましたが、一部でやや生育過剰気味の圃場が散見されます。また水稲の後作など、土壌水分が高い条件で播種された圃場において出芽のばらつきが見られます。

#### 2 雪腐病の防除

県北部や高標高地帯など、根雪期間が長い地域では防除を行いましょう。この場合、例年発生している雪腐病の種類に応じた薬剤選定が必要です。

県内で発生が特に多い雪腐褐色小粒菌核病にはトップジン M 粉剤 DL、トップジン M 水和剤、バシタック水和剤 75、オキシンドー水和剤 80、キノンドー水和剤 80 などが有効です。



写真1 雪腐褐色小粒菌核病の被害圃場



写真2 雪腐褐色小粒菌核病の拡大写真

雪腐病防除時期は根雪直前が最も有効とされています。しかし、根雪になる時期は、年によって変動が大きいため、散布時期を逃さないように気をつけましょう。現在は根雪前 4 週間程度から散布できる薬剤も登場してきています。雪腐病常習地で、根雪前の適期散布が困難な地域については農業改良普及センターなどに御相談ください。

#### 3 排水路の点検

越冬後の融雪水の滞水による湿害等を防ぐため、根雪期間前に明渠や排水路の点検・整備を行いましょう。土塊等で塞がっている場合は撤去してスムーズに排水が行われるようにします。

越冬後の圃場排水を促進することは、融雪期追肥作業等が適期に実施できることにもつながります。

#### 4 積雪期間中の注意

小麦の場合、積雪期間中特に行う作業はありませんが、積雪状況などを定期的に確認して各種被害(雪害・凍害による枯死・生育不良、凍上害、野鼠害、早期融雪による鳥害など)が生じていないか確認しましょう。また、雪解けが近づいたら、越冬後の作業時期・内容を早いうちから計画するよう努めてください。なお積雪している圃場は滑りやすい上に、水路等の確認が難しく危険です。事故防止のため、必要時以外は立ち入らないようにしましょう。

農作物技術情報の本年度定期発行は今号で終了となります。気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。発行時点での最新情報に基づいて作成しております。発行日を確認のうえ、必ず最新情報をご利用下さい。

中央農業改良普及センター県域普及グループは、現地農業改良普及センターを通じて先進農業者に対する支援活動を展開しています。